

水源禅師法話集 84

(2018年4月28日 大阪合宿2日目)

2019年2月16日

一乗禅の会



目次

水源禅師法話

悪い所を観ることによって、病と悩みが消えて行く.....	3
真実は全て隠されている、でも仏性と大自然の中で生きれば、.....	3
南米エクアドルで観音様が出て来られた.....	5
南伝と北伝の呼吸の仕方.....	6
形、型に溺れてはいけない.....	6
「殆どの人は、本当の勉強をしないで無駄に死んで行く」.....	7

質疑応答

因縁とは？死の直前から無明に入って行く時間帯について.....	9
私達は何も知らずに生まれて死んで行く蜻蛉である.....	10
太古の文明と現代は密接に繋がっている.....	11
無明はどのように私達の身体に繋がっているのか.....	11
十二因縁を観なければ法華経は読めない.....	13
「一切唯心造」.....	13
想像を絶する世界に私達は生きている.....	14
聖書は6回作りかえられている。その原本は一体何なのか？.....	16
私達の身体は宇宙の神秘である、ヒンズー教の極意と心髄.....	16
観音様はどこから出られたのか？.....	17
巨石文明と仏教の繋がり、観音様の叡智.....	18
次の世は、あなたがこの世で何をしたかによって決定される.....	18

水源禪師法話

悪い所を観ることによって、病と悩みが消えて行く

【水源師】

…天からず一つと観て一回か二回。それから部分的に観て行きます。それがしっかり出来たら、周りの人の、座っている方の骨を観て行きます。どんどん広げて、遠くから観て行きます。そしたら、ワンコちゃんも豚ちゃんも人間も、全てが白骨として観え始めます。この地球。それが最終的。これによって、自分の病とか悩みとか全て取れ始めるはず。

これが非常に仏教では大切な所で、これを観る事によって、全ての病が消えて行くとお釈迦様が仰っています。だから良い所ばかり人間は見る事が好きですけども、逆に悪い所を観る事によって、五蘊が消えて行くはず。照見五蘊皆空。

空から入って行く涅槃に達する人、それからアスバ(asubha:不浄)の気持ちの悪い方向から入って行くと。ただ気持ちが悪いのですけれども、それぞれによって体がドンドン良くなって行ったり、若返りますから、喜びが発生するわけです。結局垢が取れて行くという。そういう事で、非常に簡単な事で、ヴェーダナーヌパッサナー(受随観)はもっと難しいです。これはジャーナが無くて出来る方法で、これでやってみてください。

— 座禅 —

空を観る手法ともう一つはカシナ(kasina:遍)の瞑想とそれからこういう風にちょっと嫌な気持ちのする瞑想が、スケルトン瞑想、アスバの瞑想法、それから三十二分身の瞑想法、マラーヌッサティ(Maranānussati:死随念)も入ると思います。スケルトン瞑想は、非常に簡単で自分の骨を観て行く訳ですね。これによって、老化を防いで病気が無くなって行く。何故かと言ったら、病というのは五蘊によって生じる事であって、five skandhas(五蘊)が消えて行くわけですね。清浄道論、アビダンマの中にこれをすれば浄化して身体が元気になりますと。これが副産物で、これからサティパッターナ(四念処経)のヴェーダナーヌパッサナー(受随観)、カーヤヌパッサナー(身随観)、チッタヌパッサナー(心随観)、ダンマヌパッサナー(法随観)に入るためのニミッタを得やすいと言う事ですね。ニミッタを出す事が出来なくても、こういう方法でやれば、ブッダダトゥ(buddha-dhatu:仏性)、ブッダネイチャー、または仏心の種が入って、これが今の世でなくても必ずや華開きますと。

真実は全て隠されている、でも仏性と大自然の中で生きれば、

【水源師】

私達は非常によく洗脳されていますから、頭が。そう言う風に、洗脳される様な教育をされているから、昔から大昔から。結局さつき説明した様に、あったでしょう。ダヴィンチコードの

絵。後で説明しますが、お月様と地球の関係があの中に入って、それから陰陽の関係もそこの中に入って、十一面観音の？がそこに入って行くわけですね。だから、月光菩薩、日光菩薩、日月菩薩の事があると言うのは、太古の昔の巨石文明がもはや現代数学よりも発達したタイル数学を使っているはずです。カルナックというフランスの何キロにもわたる石(列石)が、見たら100分の1度も狂いが無いわけですね。地球の経度緯度。

私達は凄く進化したものだと思っているけれど、実はそうではないし、月火水木金はこのななつ星ですね。日月。月曜はなぜ、普通は月曜日から始まります。日曜日ではなく。月曜というのは、1日に33度。33度と言うのは、33degrees (Freemasonの階級)のジョージワシントン、アンドリュージョンソンだったと思います。もう一人ルーズベルトが日本に戦争を仕掛けて、33degreesを貰って、アメリカはたった3人だけ。全て太古のメガリスティックヤード、366杓子によってアメリカは設計されて。何故日本をやったかと言えば、これで全世界を制覇出来るという本を持っているわけですよ。だから殆ど東洋の方はそれを隠されて分からないから、混乱してミドル・イースト(中東)も現在そんな感じで。

というのは、仏法の眼を持てば、それが全部見えて行くわけです。政治家は最低私の眼を持って、この日本を救わなければいけないのだけれど、しない。それが大問題で。と言うのは、一億二千万三千の命が掛かっているし、この東洋も大変な事になっていますね。ただそれで私も何とか法を伝えようと思って、去年から来て法を持てば日本は絶対破壊されないと言う事で、北朝鮮はミサイルを打ってこなかったでしょう？皆心配したでしょう？心配するなど言ったでしょう。もう法を与えたから絶対に来ないと。どんでん返して今南北協調したでしょう。これはアメリカにとって最も嫌な事なのです。イギリス、フランスとかあっちの方にとって。これは全部昔から仕組まれた方法なのです。六千年前からずっと。それが私達、百年二百年の事で頭が狂う様に教えられているから、その本当の事が観えません。

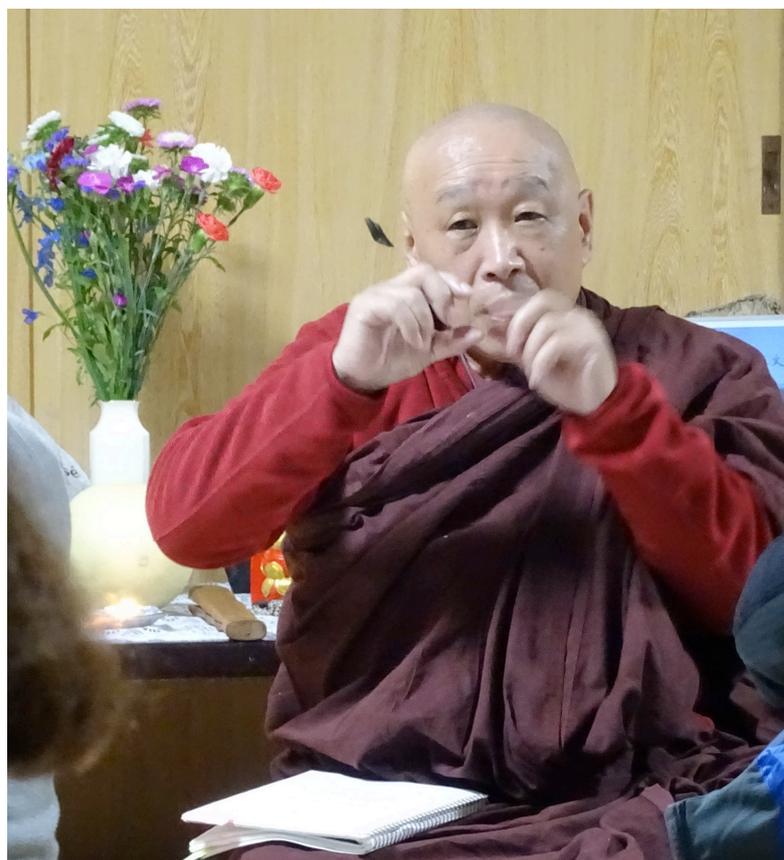
私がこれを言っているのは、オックスフォード大学のそういう研究者の数字を基にしているわけで、私がただそういう誰かが言った雑念で言っているわけではないのです。オックスフォード大学のアレクサンダー・トム(Alexander Thom 1894-1985)、機械工学の教授がこれを発見して、調べて行ったら実は、昔は366度をこの地球で。たぶんロースト・タブレット・オブ・エンキ？(The Lost Book of Enkiという本はありました)という釘文字で書いたスミアカルチャーの時に、ちょっと人間を化かす為に作られた360度。この太陽の直径と音楽444(Hz)のバイブレーションが全部合うわけです。だからレオナルドダビンチは皆知っているわけです。私がそれを見た時には、女と男とXY、DNA。全てそれに入っている。だから仏教は非常に良くそれが見える。

私が何故言うかと言ったら、あまり世間の雑音に惑わされずに、一人静かにこの自然の中で生きて行けば、この大地の中に凄い秘密がいっぱいあってそれだけで十分。あとはこういう風に瞑想して、ブッダダトゥ(buddha-dhatu:仏性)を持って行けばそれだけでも十分です。

南米エクアドルで観音様が出て来られた

【水源師】

今回一番ビックリしたのは、ビルカバンバ、南米で川の側でやったら観音様が出て来てね、やっぱりハスの中に最初4人、次5人。あと9人くらい来たけれど、発生しなかった。その人達の、あるお爺さんはスペイン語しか分からないけど、ちゃんと観るわけ。凄い事ですよ、仏法と言うのは。そこは世界60ヶ国の人がある街に住んでいるわけね。その小っちゃい村に。私も知らなかったけれど、この人はアメリカの中枢部に長い事入っている人で私の生徒で。この人が色々こういう秘密を教えてくれるわけです。この人は日本の原爆を落としたことに対して、非常に心を痛めて、世界の最初の environmental lawyer(環境弁護士)で世界中を100回以上回ったみたい。原爆に反対するため。原発とか。そういう何かこうやっていたら、不思議な縁が出て来るもので。



【司会者】

今日初めて来られる方もいるので、座り方とかちょっとやり方とか分からない事とか大丈夫ですか？

【参加者】

宜しければ教えて戴きたいです。

南伝と北伝の呼吸の仕方

【水源師】

ここでは、南伝と北伝の二法の呼吸の仕方。南伝はアーナーパーナ・サティ (ānāpāna-sati: 入出息念) と言って、マインドフルブリージングと英語で言いますが、基本は鼻から入って鼻から出す。それだけなのです。それだけでも、仏に帰依しながらやった場合には、不思議な事が起こって、病気が治るわけですね。ただそれだけで。次に進むのは、この鼻から呼吸して鼻から出すと。何故これが大事かと言えば、この鼻の中は非常に敏感に出来て、神経がいっぱい入っているでしょう。だからちょっとでも触ればもの凄く痛いわけです。ところが、これを利用して、これがワイヤレス・コミュニケーション、ハダヤ (hadaya: 心) ここから頭を通して、松果体を通してここに連絡するわけですね。これによって体と心が一致し始めるわけです。

普通はそういう事は考えないから、ただ呼吸して死んで行くでしょう。ただそれだけの事。ところが、ここに凄い秘密があるわけですね。だからアーナーパーナ・サティというマインドフル・ブリージングという非常に今流行っているみたいですが、禅法の方は基本的には、やっぱり鼻から吸ってこの息を口の中を通して口からゆっくり出すというのが正式ですけども、ま、鼻から吸って鼻から出す、それでも OK です。ただしその時、舌を上顎の所に付けて少し開けて口を(から?)出すと。

形、型に溺れてはいけない

【水源師】

座り方は、半跏か結跏。マハーヤーナ(北伝)の場合は、なぜかと言ったら、ヨガ形式になっているわけですね。南伝の場合は、胡坐みたいにします。何故かと言ったら、長時間座るから、結跏の場合はね、一時間でも普通無理です。お坊さんは誰も出来ないです。ところが、こういう中国・韓国・日本の場合は昔から慣れているから結跏をしますけれど、普通は出来ません。でなければ、小さい時から訓練した特別な人以外は。まあ結跏でやった場合には、それは凄い事ですね、やっぱりきつくしめるから短時間で効果が上がってきますけれど、その代わり沢山のお坊さんは足を悪くしている。大体 50 過ぎでは、もう座れなくなってしまう。

私は今年でもうすぐ 72 になりますけれど、半跏でも結跏でもやろうと思えば出来ます。何故かと言ったら、私の先生が若い時に、「無理しては駄目」と、「交互でやりなさい」と。ところが普通のお坊さんは、右足を出すのは非常に失礼だから、左足ばかりでやるわけですね。

そういう型に溺れて、結果的には50過ぎ辺りからもう足を痛めて座れない。そういう禅宗の方でも、一生懸命修行するけれども、もう60近くなったら一禅くらいでおしまい。40分、あとそれ以上は座れない。結局型ばかりに、型が大事であって、中身よりも型を重視してしまうから、お釈迦様はこういう風に座られた。だから私達もそうすると。ところが、それはそれで素晴らしいのだけれども、私達はお釈迦様ではないしね、それに近づこうと徐々にするのは良いのだけれども、それをやった場合にはやっぱり切れますね。若い人もそれでやって、ミャンマーで見ましたけれど、凄い行者だったけれどやっぱり切れてしまう。それで修行が上手く行かない。

だから形ではないのですね。ただそれが出来て、一時間二時間やればこれは大したもの、やっぱり行も上がって行きますよ。確かに凄い。でも、あんまり無理をしない様に。疲れる時は、半跏でしたりね。私もよく半跏・結跏混ぜてやっています。若い時は。調子が良ければ結跏。疲れる時は半跏。はんかくさい(方言:バカな事をしてる)ってあるでしょう(笑)。まあそんなものです。

「殆どの人は本当の勉強をしないで無駄に死んで行く」

【水源師】

南伝の方は、結局優しいようですけども、このアーナーパーナで長時間座る姿勢があるわけです。長時間座った時に、感覚も何もなく意識だけになって、深い心の奥で、サンカーラ(sañ khāra:行、形成作用)、五蘊ですね。観て行くわけです。深く。特に自分が生まれて死ぬ、自分が生まれて死ぬ、そのサンカーラも観て行きます。その時には、やっぱりまあどうなんだろう。やっぱり最低に2、3時間は座らなければね、深く観えないけれども、私の場合はあんまり良い行者ではないから、お坊さんではないから、痛みが来ればニミッタが壊れてしまうのですよ。それで観えなくなってしまう。それでやっぱりちょっと楽な姿勢でずうっとやって行きます。

そういう事で、北伝の場合は特に、丹田。お腹をグウッと膨らませてそれから肛門をグッと閉める。クンダリーニですね、の力を上げて、その力で楽々と身体も元気になって力が来る事もあるから。5秒間数えてそれから放すと。ゆっくり。その後、膨らんだ、へっこんだ、膨らんだ、へっこんだ。これは非常に大切な事。ライジング、フォーリング。カーヤヌパッサナー(身随観)に後で直結して来ます。これだけで。このカーヤヌパッサナーは、四つの法門の涅槃に達する一つの方法で、本当に達します。ヴェーダナーヌパッサナー(受随観)も達します。それからチッタヌパッサナー(心随観)も涅槃を垣間見る事が出来て、もちろんダンマヌパッサナー(法随観)もその現象が起こります。そこからまた奥に入っていくのですけれども、これだけでも大したものですよ。

特に、色んな心の現象を観るとか、そういう方はもう仏界に入っているわけなのですよ。ブッダダトゥ(buddha-dhatu:仏性)を皆さんが観始める事で、これだけでも大変な事で。普通はね、お釈迦様が言われる事は、「殆どの人は non-education、全然勉強(一つでも発見した真理の体感なしに)をしないで死んで行く」と。つまりこういう宇宙的な本当の勉強をしないで

人生を無駄にして生きて行きますと。非常にもったいない事であると言う事をお経の中で説かれています。それから、まあ私はエリートという言葉は嫌いで、私は出来が悪いからです。でも皆さんはエリートの世界に入っているわけです。この仏教界では。お坊さんでも、皆さんの様に体験する事は非常に稀です。殆ど出来ないのです。何故かと言ったら型とか教学をあんまりやるものだから、なかなかこの壁がぶち破れないわけです。だから私があまり教学とかそういう事を教えないのは、まず実践で体験してその後で本を読まれば、もっと良く読めて益々進化します。



ゴールデン寺院の石窟洞内の仏さま達、スリランカ

質疑応答

因縁とは？死の直前から無明に入って行く時間帯について

【参加者】

十二因縁の事をお聞きしても…。因縁って何ですか。

【水源師】

それはですね。この世に生まれて、死んでまた生まれて死んで生まれるそのサイクルのちよど死の直前から無明に入って、生まれる所の非常に短い時間です。非常に短い時間。ところが、皆さんが来たから説明しますが、それはね体験していなければ、ただ書いておしまいだし、殆ど間違っ書かれて。その上に書かれているのも間違い。こっちの上の方もそれも間違い、完全に間違っています。結局それはね教学仏教で、誰かが書いたのだけれども その写しと思います。

これですね、これも間違い。これはやっぱりサンスクリットという言葉で、こっちの方がまだ実態に近いのだけれども。

【参加者】

これも間違いなのですね。

【水源師】

そっちの方はまだ良いのだけれども、これは完全には間違っ書かれています。コピーして外国の方が適当に書いて。適当と言うよりも分からないから間違っ完全に書いています。誰かのコピーだと思います。これは。何故かと言ったら、これによく似ているから。これを西洋の方が翻訳して、今度西洋式に解釈したのが、フランシスコ・ヴァレラというこの方の名前が付いているところをみたら、カソリックのお坊さん辺りかも分からない。という風に、正式な事を説明しますからね。良かった、聞いてくれて感謝します。

あなたが訊こうとした事はね、list of twelve nidana これはサンスクリット語で、本当は英語で言えば、dependent origination と言って、パティサンディ (patisandhi: 結成) と私達は言いますね。Transcend dependent arising、非常にここは究極の所で、死ぬ時にジャーナで全部観て行きます。これはどこ辺りに当たるかと言ったら、非常に高度な、私も知らなくてビックリしたのはこの後でたくさんの教科が出て来るのだけれども、私が調べてみたら非常に高度な教科だったので。ではまあそこから入って行こうかな。

リクエストがありましたので、結局私達は死んで生きて死んで生きて。その時に、因縁によって生まれると。因縁の中で生きて行って、また死んで。無量の時間帯でそれが繰り返されているわけですね。ではどうして生まれて、死んでは生まれ、死んでは生まれ。そうなるのかと、言ったら、結局非常に簡単に説明すれば、心のプログラミングと言うのですね。結局、サンカーラ。行深、観音様が深くこの心の作用、行列、識を観て行った時に、全ては心の作用

で生まれ。心の作用で生まれる時に、心の作用で生きて行きますから、他の心とぶち当たって喧嘩したり、また王様に生まれたりとか。

そういう事になるのですけれど、ではその心の死ぬ直前に何が発生するのかと。死ぬ直前に発生する時間帯は、殆ど一秒にも満たないのですねパティサンディと言うか、このスペルが間違っているけれども。無明が発生するが故に、サンカーラ、行が発生すると言う事が書かれていますけれども。これはですね、このところが大体 1 秒にも満たない事で発生します。この最後のこれによって、生まれ 11 番、そして生まれて死ぬまで、これで喜怒哀楽の憂い、悲しみ、苦、哀、この煩悩の中に生きていてまた死ぬと。この 11, 12 番が私達の今の世界では、百年とかね、天界に行けば一万年、四万年、十万年とか。もっと宇宙的な生命体でしたら、四十万年、五十万年とか。この私達の百年のこの 11,12 番。その間こう生命が立つときにもはやその他の生命体に移っていきます。その移る前の過程が、結局 1 番から 10 番に入ります。

それをどういう風に説明しているかと言ったら、これは簡単でしょう。詳しく言えば、これでも足りないのですけれども、こういう事になって行きます。これを全て瞑想で観て行きます。事細かく。これをナーマ・ルーパ(名色,心と体)の行(作用)でこれを観て行く訳なのです。まず、中国語でやった方がまだ皆さん分かんと思う。英語でこう私がたどたどしい通訳よりは、そっちで見た方が良いと思うから…。これは、ナーマ・ルーパ(名・色)の中国語で書いているものです。これでも何を言っているかちょっと理解するのは難しいと思います。

ナーマ・ルーパと言うのは、結局 54 の物質。ルーパ、色、54 の物質。結局、眼とか耳とか、そういうのが 54 (鼻、舌:身は 50)。54 と言うのは、9 になりますね。5+4 は。その倍が 108 (54 x2)。数珠が 108。キリスト教の方は 54。カンボジアのアンコールワット、アンコールサム(英語発音、アンコールトム日本語)の顔、54。という風にあれば非常に太古に作られた知識から出て、たぶんこのルーパ、物質ですね。色の事を言いたいのだと思う。54 という数字が出て来るのは(9はマジックナンバーで、ゼロが無くて ゼロポイントの時は宇宙的数)。

私達は何も知らずに生まれて死んで行く蜻蛉である

【水源師】

またこれから説明しますが、学校で学んだ三角関数の秘密をレオナルドダビンチがもはや知っていて。これはどこから出て来ているかと言ったら、地球と月の、対比が 3, 4, 5。これがピタゴラス派のシークレットになって。結局この地球と月がそうなっている事は、想像を絶するでしょう。でもそうなっている。その事が結局、確かヒンズー教。インドの方ではこう説明されている。観音様の眼から月、太陽が出て来たと。月、太陽の比較を見たら、想像を絶することにレオナルドダビンチが男性が両腕を広げて、股も少し広げての図)を書いたでしょう。ここに、その上に大きい丸が地球とすれば、月と地球の大比は、3.66 くらいなのです。3.66 倍地球が大きいわけです。だから正式な数字では出来ないけれども、彼はこういう風に画いているわけですね。それはどういう風な対比になると言えば、月の直径が 3 とすれば、地球の直径が 11 になります。割合が、だから 11-3は、8 でしょう。その片一方(8/2=4)の図

を書けば、3、4、三角関数の5になります。これが実態です。

観音様の眼から月と太陽が出て来たと。私達はもう想像を超える世界に生きて居りますが、この事に気が付くことなしに輪廻の大海で迷い続けます。

太古の文明と現代は密接に繋がっている

【水源師】

これはなぜ発見したかと言ったら、タイル数学と私が前に言って説明したでしょう。非常に発達している、現代はそっちの方に。カルナックと言うフランスの地面に巨大な巨石が、行列していっぱい並んでいるわけです。それをオックスフォード大学の地質学者が研究した時に、経度と緯度が正確にこの地球と合っているわけです。それがもちろん三角関数もあればあらゆる数学の基礎のナンバーがそこに入っているわけです。それがボンボンボンと置いてあるわけではないのです。驚くなかれ、日本にもそれがあるのです。岩船という巨石が関西かどっかにあって、それがこうクスコで見た様に非常に綺麗に切っている。それがいつの世に切ったか分からないけれども、それがあるわけです。ただそれがね、それを測った時に全てが出て来るけれど、一体どういう事か。メジャーメント(測定)ですね。

太古の昔、その時は 366 度(月と地球の対比は: $3.66 \times 100 = 366$)、この地球。地球の円形によって、測定単位が決まります。1m、1 ヤード、メガリスティックヤードと言って、約 83 cm。82.79…。大体 83 に近づきます。だからその岩船を測った場合に、どれくらいの幅で切ったか、それから階段とか、それを調べたらすぐによってどの単位で作って切ったか分かるから、その単位によってね、これはエジプトの単位。これはロイヤル・キュービットと言って他の単位と混ぜています。でも、今この単位を調べるのは殆ど不可能、対比表を出版禁止しています。cm、foot (1foot:0.3048 m)、kg、一貫(3.75 kg)、二貫、一匁目(いちもんめ:3.75 g)、または 1 パイント(pint:体積)とか、1 リットルと言いますね。スペインの1パイントとアメリカの 1 パイントはちょっと違う。でもそれが全て繋がっています。

という風に、人々に分からない様に誤魔化しの単位を入れておくのだけれども、究極的にはその誤魔化した人は、誤魔化した X を持っているから、X を掛ければちゃんと出て来るわけです。だから私が言っているのは、そう言う風に太古の文明と現代は密接に繋がっていて、特に観音様の眼から出たと言われる月と太陽。それが結局 400 倍なのですね。円周の大きさが。太陽の円周の大きさが。だから、400倍の距離に置いた時に、月と太陽が同じく重なるわけです(日食)。その時に、日月、日光菩薩、月光菩薩、日月燈明仏という久遠の彼方の二万仏と言われる沢山の仏がこの事によって来るのか。それとも二十八仏の過去仏ゴータマを入れて、二十八仏はどうなっているのか。

無明はどのように私達の身体に繋がっているのか

【水源師】

それで、何故そんなに私が過去を調べるのかと言ったら、人間は生まれて死んで生まれ

て死ぬと。そういう事が久遠の彼方から繋がって来ているわけです。だから、そこを観るのは最終的な大乘では1から27あるニルバーナを観た後の知識に入って来るわけですね。どういう風な事が、今質問された事が書かれているかと言えば、もっと詳しく書いているだけなのだけれども…。イグノランス(ignorance)、無明ですね。どういう無明が私達の身体にどういう風に繋がっているかと言えば、全ての私また達の身体の行動とそれから言葉と心から無明が密接に繋がっていると。

どういう風にアラハト(阿羅漢)様とか、お釈迦様が言われているかと言ったら、全く分からずに suffering 苦悩、またそれがどこから発生したかという苦の原因。またそれをどういう風にその苦しめるかと言う事が分かっているから、それで無明と言って。それから次に繋がって行くのが、constructing active consciousness rebirth and consciousness つまり、無明が故に今度生まれるというそういう事に発展して行くわけですね。これは非常に短い時間ですよ。死ぬ息が絶える一秒か二秒の間。息が絶えてしまったら、もはや本当の屍で何も無いのだけれど、大体5秒前にもう他の空間と他の生命体に入ります。大体。それが地球の時間帯から見たら、1年、100年またはすぐ次の日とか。または過去に戻るとか。時間と言うのは非常に微妙に出来ています。と言う事を全て観て行くわけです。ダンマヌパッサナーではそこを確認して行くわけです。

こういうアビダンマの文献を見て行けば、なるほどその通りだと言う事が確認されて行くわけです。そういう法を持ったが故に、その法門が開いて、人の為に尽くす事が出来るという風に、Seeing is knowing. 知ると言う事は見る事によって分かりますと。これがパオセヤドーが書かれた最初の半分の修行課程この後にまだ沢山続いて行きます。だからアーナーパーナ・サティのニミッターで行くのも良いのだけれども、チッタヌパッサナー(心随観)で空の世界を体験した時には、2、3年以内にこれが済むはずですよ。ところが、直接これを挑戦した時には、余程の過去生の力が無ければ難しい。

特にミャンマーのモーラミヤインは気候的に非常に過酷な条件だから、普通の人は大体病気になってしまう。でも頑張って、知りたいが為に一生懸命そこで10年、20年。ドイツの人とか、もう世界から来て頑張っているけれど、やっぱり私の場合は印幻先生の手ほどきによって指南を受けて、ちょうど指南ですね。こっちだよ、こっちだよ、と教えて頂いてただ私は突き進んで行っただけです。それをやったが故に、これがすんなりと何処までも観えて行っただけです(先生は親よりも尊しとはこの事です)。その涅槃の事も書かれていますけれど、涅槃の後で観るくらいの行課になっているわけですね。実際にそうなのです。実際にそうなのだけれど、その事をちょっと話したらビックリしてしまって。その後の行課が、パティサンディに入って行っただけですね。

だから普通の人はなかなか観られないわけです。死んで生きて死んで生きては分かるけれども、それが全ての物質と過去の物質と現在の物質と未来の物質を繋いで観て行くというのは、非常に難しい行課になるから、殆ど最終的の最後の前あたりになってしまうわけですね。これは龍樹菩薩様の書いた解説であって、北伝の方で、南伝ではちょっと違いますけれど。龍樹菩薩様と言ったら、もう大変なもので。まあ日本にはその文献が無いと思いますけれども。だから弘法大師様がこの地には300巻の法門のうち、3巻しか伝わっていませんと、こ

の事なのです。現地に行って初めてその法門を受け取る事が出来るわけですね。力からがあっても現地に行って、全ては因縁なわけです。因縁に当たれば、こういう風な名無しの権兵衛でも、こう犬も歩けば、棒に当たるで行ってしまうわけですね。

十二因縁を観なければ法華経は読めない

【水源師】

まあこういう事を、さっき無明がある故に行、サンカーラが発生すると。それによってヴィンニヤーナ(viññāna:識)があつて、識つまり心ですね。観るから。そしてそのために名色、ナーマ・ルーパ、体が出来て、それが結局、眼・耳・鼻・舌・身・意の六処。六処と言うのは、眼、耳、匂、味、感とさいごの心を入れて六処と言います。その記憶があるが故に、今度は触、Pasaですね。見る、contact、それを受け取る。それを受け取るが故に、愛の縁によって、だからここがまた。結局簡単に書いているけれど、全ての知識が沢山出て来るわけですよ。ほんの0.1秒か0.2秒か、その時に。その時の人生のすべてのインプットされた心のコンピューターに出て来るわけ。この事なのです。だから、そういう事が分からなければ、突然愛とか執着とか、何の事か分からないと思います。実際に観る事によってここが解析できますけれど、観なければ理解出来ません。

大体こういう風なテキストブック、これでも相当詳しく書かれていますけれども、フィーリング。フィーリングと言うのは、ここでは受、ヴェーダナーですね、があると。こう書いています。これは craving(渴望)、お酒が飲みたい、何したいと。ここでは愛と書かれています。これがある事によって、執着心が clinging, attachment これが取とは、ウパーダーナ(upādāna)になっています。という風に非常に高度な専門的なエリアに入りますから、さらっとこういう風な十二因縁という言葉で書かれていますけれど、もしこれをしっかり分からなかった場合には、法華経の最初の文面にこう書いてあります。十二因縁を分からなければ、この法華経は読めませんと。それで大問題が発生してしまう。

では日蓮上人様は、凄いアビンニヤー(abhiññā:神通)があつて、素晴らしい方ですけども、十二因縁をしっかりと観たのかどうか、その文献があるのかどうか、解説したのかどうか、そこが大問題になります。文献があれば、当然。法華経の最初の出だしに、十二因縁を分からなければ、法華経は読めませんと書いてあります。特に、北伝はそういう南伝のアビダンマは伝わって無かった。ところが、お釈迦様の時には、アビダンマ、北伝の今のカブール、アフガニスタンにちゃんともう伝わっているわけです。という文献が出て来ている。という風に、科学的に追跡していかなければいけないわけです。文献論理だけでなく実態的な検証も必要です。

「一切唯心造」

【水源師】

では、一番重要な事は、もちろん法華経は素晴らしいお経ですけど。過去二万日月燈

明仏、久遠の時間なわけですよ。だからではどういう事なのかと。ヒンズーの事から見たら、観音様ですね。観音様の眼から、太陽と月が出て来たと。凄い事です。はっきり言って月は人工的に作られたのではないかと。科学者が言っているわけですね。自然界ではそういう風に、太陽があって、月自体がね、衛星としては異常なくらい大きいわけです。そして日食月食を起こしている。これは、月が無ければ私達の生命体は発生しないと。その時の私達のDNAはまた非常に宇宙的に珍しいものであるわけですね。ではスーパー科学で出来ているのか、ところが何と、これは「一切唯心造」といって、心の中で作られていると。だから心で発生させてしまうわけですね。瞑想をして思った時に、それが実体としてこの地球と太陽が現れて、そう言う事なわけですがけれども、また消滅してもまた現れて来ると。という事をジャーナカ物語を深く読めば、その事が言われているわけです。

その時お釈迦様がその昔、自分の家来を連れて、あの時は何だったかな、猿さんだったかな。水を飲みに行くのだけれども、そこには化け物が居って。水を飲む時にウツとワニみたいに食べてしまうと。化け物、お前は私達を食べるのかと。いやもちろん食べると。この時に近づいたら食べてしまうと。それでお釈迦様が猿さんの時ですね、6万頭か何万頭か知らないけれども、では皆さん待ちなさいと。それで心の作用で、そこにあつた水際の生えている草を取って言うわけですね。心で、よし！この水草の茎が空になる様にと。心で念じてフツと吹いたら、スツとなってしまふわけ。力ではなく。一つ一つやるのは面倒くさいから、ここに生えている全て茎がないストローの様になれと。その後ある時お釈迦様が、池の湖のほつりを歩いた時に、4カルパ(劫)後もその様に茎がストローの様になつて生えているのです。

想像を絶する世界に私達は生きている

【水源師】

アインシュタイン、アル・ベリック、テスラー、この方達によって、時間と空間を超えた Philadelphia Experiment (フィラデルフィア計画)をおこなつたわけです。そのテスラーさんが何と言つたかと。この惑星は不思議なもので、発生消滅すると。消滅してまた発生すると。非常に不思議な惑星であると。

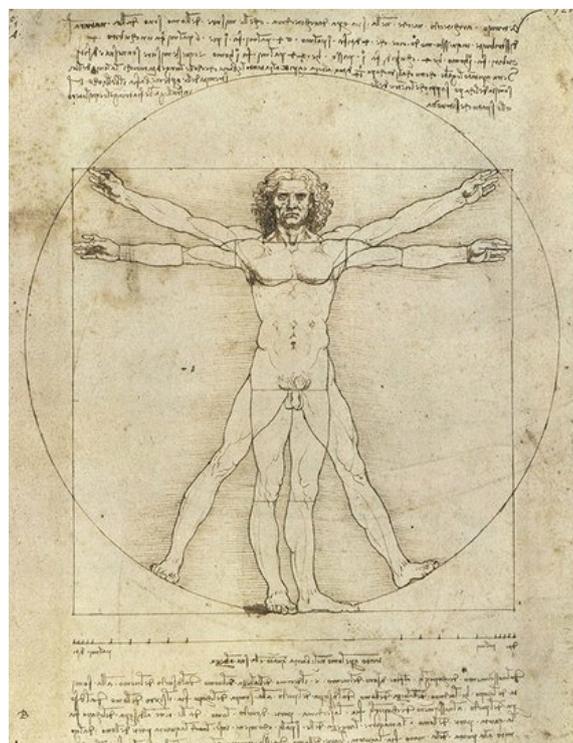
だから私達は想像を絶する大世界に生きているのだけれども、そういう超スーパーブレンとか宇宙人的な方がそう言つて、結局今アメリカで空母あるでしょう？日本では厚木何とか、霧島とか、一遍に4隻やられてしまいました。日本が負けるわけないわけです。ダースベーダーみたいに、最精鋭3000の名パイロットでね24時間空母をグルグル旋回している。それが訓練殆ど無の若いアメリカのパイロットに潰されてしまつたわけです。

という風に頭ではないわけです。全て心なのです。だから第二次世界大戦が始まる二ヵ月前に、アメリカはもはや日本に勝つという記念館の場所を作つて、ペンタゴンとそれから全てこのポイントから capitol hill、ホワイトハウスから全ての建物が出来ているわけですね。その単位が何を使つているかと言えば、366メガリスティックヤードと言つて、太古の昔の単位を使つているわけです。それがずうっと降りて来て、未だにU.SのワシントンD.C.はこれが基本になつて全て出来ている。彼らは言わないけれども、これをオックスフォードのアレクサンダー・ト

ムという教授が、船が大好きでスコットランドの月の満ち欠けを探っているうちに、巨石のストーンヘンジとか沢山の巨石を見て行った時に、このヴィーナスの動きと地球の動きとそれによって 1m スメリアカルチャー。その前はメガリスティックヤードと言う、メガリスティックと言うのは巨石の物差しと、それが 83 cmと割り出したわけです。何と今のアメリカのペンタゴンとか 911 の尺度は全部そこに入って来る。

という風に想像を絶する世界に私達は生きているわけです。全て物差しを見て行ったら、分かって来る。深く私達の DNA はこういう風に地球と月の割合、ここに何故人間が書かれていると、1, 2, 7 つでしょう。7 つ。これは何を意味するかと言ったら、月が一日 33 度の天空を回ります。次にマーキュリー、2.5 度。金星はそれに近い 2.5 度よりちょっと小さい。太陽は一日 1 度の割合で動くから、365 でしょう。360 度を使っているでしょう。昔の人は 366 日を使っています。これが月火水木金になっているでしょう。この暦は、木金土日、それでこの 7 つのポジションによってカレンダーが出来ている。

その月は一日 33 でしょう。メイソンの最高の位は、33rd degree。33 度。それはジョージワシントン、次にアンドリュージャクソン、最後はルーズベルト。これはスコットランドメイソンではなく、アメリカの今のそれはね。西洋は、メイソン同士で戦うわけです。知識で。グランドマスター、フランスグランドマスター、ドイツグランドマスター、イングリッシュグランドマスター。アメリカもグランドマスターが居るわけです。そういう風に。ただアメリカでは三人だけ。未だに。というのは、超ジーニアスでなければ、天才でなければ、33rd degree が貰えない。頭ではなく行動によってしか最高位は貰えない様になっているわけです。頭ではない、行動によってだけ。



レオナルド・ダ・ヴィンチの「ウィトルウィウスの人体図」

聖書は6回作りかえられている。その原本は一体何なのか？

【水源師】

という風にそれはね、そういうものを超える法をお釈迦様は教えて、皆さんを苦の世界から苦勞しなくてもこういう畏の世界より自由になれるよという事を教えているわけです。何故かと言ったら、西洋の方はバイブルを基本にしているでしょう。聖書、聖書。その聖書は過去6回書き換えられているわけです。第一にエボノナイト、マルシナイト、ノースグッドゥ、プロトオーソドックス、オーソドックス、プロテスタント、という風に書き換えられて、400年前のキングジェームズバージョン(編)が基本になっているわけです。それはね、ユダヤ教のトーラの写し変え、イスラムもまた使っている。

その原本はどこから出ているかと言ったら、スメリアカルチャーの太古の昔のストーリーが同じく書かれているわけです。コピーなわけ。そのイスラエル人の教授に聞いたら、私達は非常に田舎の人間で、昔良い生徒だったと。だから未だにそのバイブルを持って、それが基本になってトーラを持って未だにこの世を動いていると。ところが、他の世界では全然、持っていないのだけれども、日本にもその秘密があるはずですよ。言っていないだけで。岩船とか与那国とか。ただ私達は知らされずに、生きているのだけれども、日本にもいっぱい太古の巨石文明があって、特に一番非常に興味があるのは神武天皇の池堀のサイズとかいっぱい調べて行ったら分かるのだけれども、それはちょっと無理な話でしょう。私は考古学者でもないし、まだ趣味で。それが分かれば、何時の時代にどういう風な文化の系統でこの日本に来たかすぐ分かるわけです。どういう風に発生したか。

私達の身体は宇宙の神秘である、ヒンズー教の極意と真髓

【水源師】

という風な事を弁えながら、結局ナーマ・ルーパのこの生きて死んでいくこの過程はもう超宇宙的なのです。超宇宙的な。それをお釈迦様がちゃんと分かっている。頭がクラクラして来るでしょう。でもその超宇宙的な生命体を皆さんが持っているわけなのです。それを知らずにして死んでいこうとしているわけです。だから、あなた方の身体は、宇宙の神秘なのです。想像できないでしょう。まさか宇宙の神秘なんて。ところがそうなのです。

それでは、本題に入りますね。それをどういう風に宇宙の神秘として分かって行くのか、ヒンズー教の最も極意は、ミスティックオブヒート。これも実体であるけれども、何が何だか分からないわけ。体験する以外ないわけです。結局、慧能大師様が達磨大師様が持って来た経典は、やっぱり法随観と殆ど同じで、非常に難しいわけです。ニミッタが無ければ修行出来ない。だから慧可に伝えて、六代目六祖大師慧能様が、ミスティックヒートという過去の前世修行、「who am I」、殆ど公案と一緒に。それで悟りを開いたと。

だからチッタヌパッサナーをするというのは、久遠の彼方のそういう手法を使って、宇宙の最高の所に立つ道を進んでいるという。四つの法門サチパタナーね。カーヤヌパッサナー(身随観)、ヴェーダナーヌパッサナー(受随観)、チッタヌパッサナー(心随観)、ダンマヌパ

ッサナー(法随観)。ダンマヌパッサナーの場合は、もちろんその手法を知りたければ手ほどきしますけれど、ニミッターに+ジャーナに入って行かなければ。ジャーナに入って行った後、この教科をずうっとやっついていかなければいけない。時間的に殆ど皆さんあるのかどうか。私も付きっ切りで二年、三年、成功するか成功しないか、全く分からない。時には五年、十年掛かるかも。ただその入口として教えておけば、皆さんがパオかどっかに行って、しっかりした基本を持って行くから、出来るかも分からない。出来ないかも分からない。ただ禅の場合は、もっとこの社会が仏教的になっていますので、短い時間でも自分の都合に合わせて、ある程度は行きます。

観音様はどこから出られたのか？

【水源師】

お釈迦様が涅槃に達する最初のゲートは、カシナの瞑想法、空の瞑想法、もう一つはこのスケルトン瞑想法の嫌な感じのする瞑想法、この三つを教えられた。それで何故観音様、観音経を唱えて、慈悲の瞑想とか私がいっぱいするのかと。ヒンズー教の事も説明しましたがけれども。これナーランダにある観音様の像ですね。ナーランダ大学。蓮の花を持って。それで、もちろんこれはアヴァローキテーシュヴァラ。チベットの観音様ですね。これはアジャンタ・エローラの中に書かれている観音様なのです。千年かけて掛けて掘られた石窟で世界遺産になっています。千年経ってもね、銀とか金、赤とか落ちていないのですよ。色が。それはね、現在レーザー光線を使っても掘れない様な非常に不可思議な掘り方をしています。それも、結局さっき言った星との関係を明快に、位置も窓の開け方も繋がっているわけです。だから宇宙人が作ったのではないかとされる。

これもスリランカの観音様。これは、確かタイランドだったかな。タイの観音様で、ローケーシュヴァラ(世自在)という名前です。観音様の事です。が彫られて。その観音様の源地？はタミールランドにあるのではないかと、そこから出られたのではないかと。ところが東京大学の観音様を研究した方は、ヘリオポリスのエジプトからなのではないかと。エジプトからトルコに渡って、トルコからインド南西のケニアクマラー(Kanya Kumari:カニャクマリ)と言う女神ですね。今小さい子供がクマリ(Kumari)とか言ってネパールでお祀りするでしょう。ネパールに行くとチベットの方は言っているわけです。そこに神殿があるわけです。女神が降り立ったという所、足跡があるわけです。小さい女性の足跡でそこが神殿になっています。そこから、ポタラというのは、Port of Apollo。ポタラ、観音様の別名、という風に中国の千手観音菩薩、日本でも三十三間堂に観音様が奉れまして。これは、ネパール、カトマンドゥーの観音様。またチベット仏教の所に行けば、観音様が居られます。首を傾げた悲しそうに。その方はインドの南からやって来たと言われる、伝説かどうか。というのは、ネパールの王女様がカトマンドゥーの方が、チベットのお嫁さんになって行く時に、そのお姫様と一緒にいきたいと、ところが王様はダメと足に鎖を付けて、行ってはダメと言う事。それで悲しく今でも首を下げて。それでチベットの方はそのお寺に必ずお参りに行きます。

巨石文明と仏教の繋がり、観音様の叡智

【水源師】

ネパールと言うのは、非常に不思議な国でね、沢山の過去仏を出しているわけです。ゴータマブツダだけではないわけです。またはインドのバナラーシ辺りでも沢山出て。過去仏を調べた場合、過去七仏を調べた場合には、91 カルパ(劫)前と。ところが大乘では、1 カルパに過去仏千仏、賢劫仏千仏、未来仏千仏、1カルパ。ところがヴィパッシ(Vipassī: 毘婆尸仏)だったかな、91 カルパ前に出られていると解説があるわけです。もういっぱいこう名前があって頭がクラクラしてね。七過去仏、「Seven Buddhas of Antiquity」という風にこれを調べたらもっと詳しく書かれているわけです。チベットでは35 仏、南伝では28 仏というのは、過去七仏前のヴィパッシ仏でも 91 カルパだからそういう。大乘では 1 カルパ、千仏出たと名前が。最初の七仏だけは大乘もテーラーワダも合っているけれども、それ以外北伝では書かれていないわけです。ただ問答で、五仏と言っているようです。

結局カクビハーラ(カックパゴダ Kaku Pagoda、ミヤンマー)行かれたでしょう。東西南北でしょう。ボーダー(インドネシア)も東西南北、真ん中、それで五仏に成っている。何故私がエチオピアのアクスムに行くかと言ったら、そこからシバの女王がソロモン王に会って、子供を身ごもってその系統で最後革命が起きて、その王が追放されたのだけど。そこには天女が来て、上から見たら四角なのです。東西南北、切られているわけです。その手法がどうも私が見たエローラ・アジャンタの切り方とよく似ているなど。その太古のエジプトの石の切り方を見たら、クスコの遺跡と同じような切り方をしているわけですね。スメリア文明のスメリア文字の経典を読んでみたら、戦争をして三つに分裂して一つは南米に行つたと。書かれているから、結局そこで発見されても少しもおかしくない。

そういう風に巨石文明と仏教の繋がりとお観音様のお力とこの永遠の叡智はどこから来ているのかと。これを研究したのは、レオナルド・ダヴィンチのこの絵を見て、それから巨石文明の物差しを見て、ハタと気が付いた時に、法華経の過去二万、日月、月光菩薩、日光菩薩、それから日月燈明仏でハタと気が付いて、ピタッと数字があって来るわけですね。想像を絶する様に三角関数が出て来るし。十一面観音、ちょうどお月様と地球の間が 11 個並べばそうなるわけです。ずうっと長く。横にしている人もあるけれど。

次の世は、あなたがこの世で何をしたかによって決定される

【水源師】

という風にあるべき様に見なさいと。自分の思いで見るとはなく、あるがままに見なさいと言うのが、仏教の神髄で、結局観る事によって本当の事が分かると。Seeing is Knowing です。ヴィパサナによって解答して、解明できると。私はまあ初めてここまで言いましたけれども、経典で説明してもチンプンカンプンになるから、去年は楞伽経のことを説明して、空の事をちょっと説明しましたけれども。体験なきが故に、こういう風に書いてしまうわけですね。的を外して。ところが皆さんはこれが本当だと思って行けば、頭に詰め込んでしまう。ここがも

う重大問題。これがネックになってね。障害になって、サンサーラ(samsāra: 輪廻)でどこまで
そうだと動いた場合は、この心のプログラミングだから、いつの世にその鎖から解き放たれる
か分からないわけです。だから私がこういう風に、地球の秘密と宇宙の秘密の関わりと、お釈
迦様のジャーナカ物語の話が密接に繋がっているわけです。

一番大事な事は、あなた方は日本の文化で育ち生まれ、確固たる仏教の基礎の上に生
活されているわけです。この最高の秘密の秘密は、密印と説明したでしょう。良い事をしなさいと、お釈
迦様も一切のこれから生まれる決定は、あなた方がこの世において、何をしたか
によって決定されると。生まれた家系ではないと。弘法大師様が言うには、全ての本当の言
葉は、それこそ陀羅尼であると。究極の秘密を教えて。だから、この数学の三角関数も陀羅
尼なわけです。本当の真理。レオナルド・ダヴィンチの事もまた陀羅尼になってしまうわけ
です。仏教は垣根が無い。垣根を作った場合には、もはや仏教では無くなってしまふ。

夢物語として聞いて、ごゆっくりされて。面白い話でしたか。そういう風にもものを見て下さい。
惑わされずに。



水源禪師法話集 84

(2018年4月28日 山梨合宿2日目)

2019年2月16日 発行

編集兼発行 一乗禅の会